

令和4年度 第6回磐田市消防庁舎整備検討委員会 会議録

開催日時 令和5年1月18日(水)  
午前10時00分から午前11時00分まで

開催場所 磐田市消防庁舎3階大会議室

出席状況 委員(8名)  
副市長、消防長、総務部長、危機管理監、企画部長、建設部長  
経済産業部長、資産経営課長  
事務局(6名)  
消防次長兼消防署長、消防総務課長、特命参事、消防本部部付主幹  
併任主査、消防計画推進専門官

議事内容 1 磐田市消防庁舎整備基本計画(案)について  
報告内容 1 建設予定地に関する業務の進捗状況について

◇◇◇・・・◇◇◇・・・◇◇◇・・・◇◇◇・・・◇◇◇・・・◇◇◇・・・

会議内容  
開 会

議長 委員長

議事1 磐田市消防庁舎整備基本計画(案)について

(委員長) 前回、委員会での計画案に対する修正等の意見について、その修正状況について、事務局から説明をお願いします。

(事務局) 修正箇所一覧について説明。

第2の新庁舎整備の考え方のうち、2基本方針に基づく要件「・・・詳細は、以下のとおりとします。」を、「・・・詳細は、以下のとおりとし、検討を進めていきます。」に変更。

第3の建設予定地のうち、3建設予定地の決定「最適地を「C-2」と判断し、建設予定地とします。」を、「最適地を「C-2」と判断し、拡張可能余地の一部も含め建設予定地とします。」に変更。

同じく、4建設予定地の概要及び状況のうち、航空写真について、北側部分を減らし、長方形型に変更。

区域図の①②を削除し、全体を赤枠表示に変更。

同じく、(1)予定地の概要 予定地を全体表示とし、面積を全体面積に変更、カッコ書きを追記。(傾斜面地のため、2段あるいは3段地造成を行う必要があり、有効面積は減少します。)

使用目的を消防施設用地、駐車場兼緊急消防援助隊宿营地用地に変更。

同じく、(3)各種申請関係 農業振興地域を農用地区域に変更。

第4の配置計画の配置イメージ図からヘリポートマークを削除し、さらに、断面図イメージを庁舎棟、車庫棟に変更し、詳細を削除。

第5の新庁舎の計画の建物断面イメージからヘリポートを削除し、災害対策本部を1階、消防団本部を庁舎2階(車庫2階には可能性を含めカッコ書きに)に変更。

同じく、4付帯施設として、庁舎屋上を利用してヘリコプターの離着陸場の設置を検討することに変更。

5主な施設の規模については、「・・・程度とします。」を、「・・・程度」に変更。

第6の事業スケジュール・事業費のうち、想定事業スケジュールの実施設計画欄については、7年度末を前倒し、さらに、土地利用申請及び造成・建設工事欄についても前倒しすることに変更。

修正箇所は以上となる。

(委員長) 修正内容に対する意見等をお願いします。

<質疑応答>

(委員) 配置計画で、緊急車両と一般車両の動線が交錯しないとあるが、配置イメージ図の動線の色を変えるなどして明示するほか、配置イメージと断面図イメージで消防庁舎と庁舎棟の表記の違いがあるため、庁舎棟に表記を統一すべきではないか。

(委員) ヘリポートの設置は屋上のみで、駐車場の活用については計画に掲載しないのか。

(事務局) 専用ヘリポートとしては、屋上を優先としたいが、実災害時には駐車場利用もあり得る。

(委員) 防災の観点から、市内におけるヘリポート増設は必要と考える。市内における専用ヘリポートは万瀬のみとなっている。災害によっては使用できないヘリポートもあること、また指定のヘリポートは宿营地や仮設住宅予定地など重複した役割が多いため、消防庁舎には専用のヘリポートの設置をお願いしたい。

- (委員) 「屋上を利用して」を削除して、ヘリポート自体の検討としたらどうか。近隣ヘリポートとの調整なども含めた検討が必要かと思うがいかがか。
- (委員長) 「庁舎屋上を利用して」を、「庁舎屋上を利用するなど」に変更する。但し、近隣ヘリポートとの調整なども含めた検討は当然してもらおう。
- (委員) 除外申請と基本設計の関連として、除外申請では、ある程度詳細な図面等が必要になる。基本設計で行う業務に相当してくるが、申請はできるのか。
- (事務局) 申請に必要な業務を委託する予定でいる。農林水産課と密接に調整しながら進めていく。
- (委員長) 後日意見があればメール等で連絡をお願いします。

#### 報告1 建設予定地に関する業務の進捗状況について

- ・地権者と折衝し、概ね同意の意思を確認。
- ・隣接の宅地所有者から手放すことも可能である旨を確認。

□西側の宅地、山林も含めて予定地とし、道路で区画された整形された土地を予定地としたいがいかがか。

(委員意見)

(委員) 計画段階で入れ込むべきであるが、面積の必要性をしっかりとしておく必要がある。

宅地については、交渉がスムーズに進むようであれば、計画に入れ込むべきではないか。西側の平地部分が広くなれば、ヘリポートの活用も可能と考える。

(委員) ヘリコプターの入射角度の関係もあるため、活用は難しいと考える。ただ、傾斜地であり有効面積が減ることを考えれば、面積を広く求めることは必要である。

将来的なことも考えて、消防防災施設が大きな面積を持って核となることは磐田市防災の肝となる。磐田市にとって有益なことである。

(委員長) 計画では、西側宅地についても面積に入れ込むこととする。

<議了>

閉 会

以上